

地域危険度マップ

平成23年3月
大館市

この地震防災マップは大館市のホームページでも見ることができます。
※お問い合わせ先：市役所都市計画課（TEL:0186-43-7084）

防災関係機関等の連絡先

名称	電話番号	所在地
大館市役所	49-3111	字中城20
比内総合支所	43-7093	比内町扇田字新大堤下93-6
田代総合支所	43-7099	早口字上野43-1
秋田県北秋田地域振興局建設部	0186-62-3111	北秋田市産業字中岱76-1
国土交通省能代河川国道事務所	0185-70-1001	能代市福測字一本柳97-1
国土交通省能代河川国道事務所産業出張所	0186-62-1226	北秋田市綴子字柳中9-1
消防本部（署）	43-4151	根下戸新町1-1
大館警察署	42-4111	根下戸新町1-70
東北電力コールセンター	0120-175366	—
N T T お客様相談センター	0120-019000	—

救急医療機関等の連絡先

名称	電話番号	所在地
市立総合病院	42-5370	豊町3-1
市立扇田病院	55-1255	比内町扇田字本道端7-1
秋田労災病院	52-3131	軽井沢字下岱30
田代診療所	54-6311	岩瀬字上岩瀬塚ノ岱20
大館保健所	52-3955	十二所字平内新田237-1

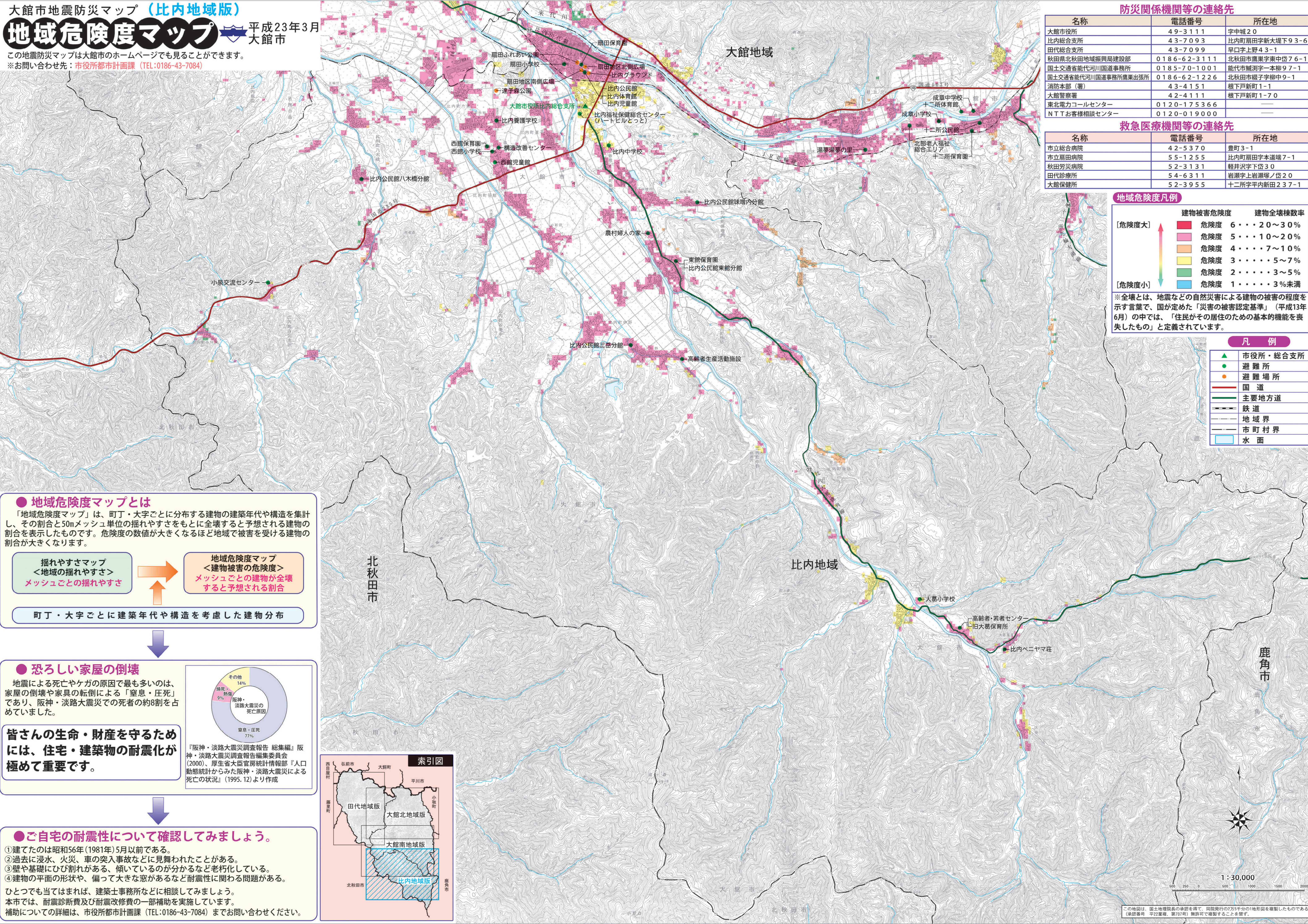
地域危険度凡例



※全壊とは、地震などの自然災害による建物の被害の程度を示す言葉で、国が定めた「災害の被害認定基準」（平成13年6月）の中では、「住民がその居住のための基本的機能を喪失したもの」と定義されています。

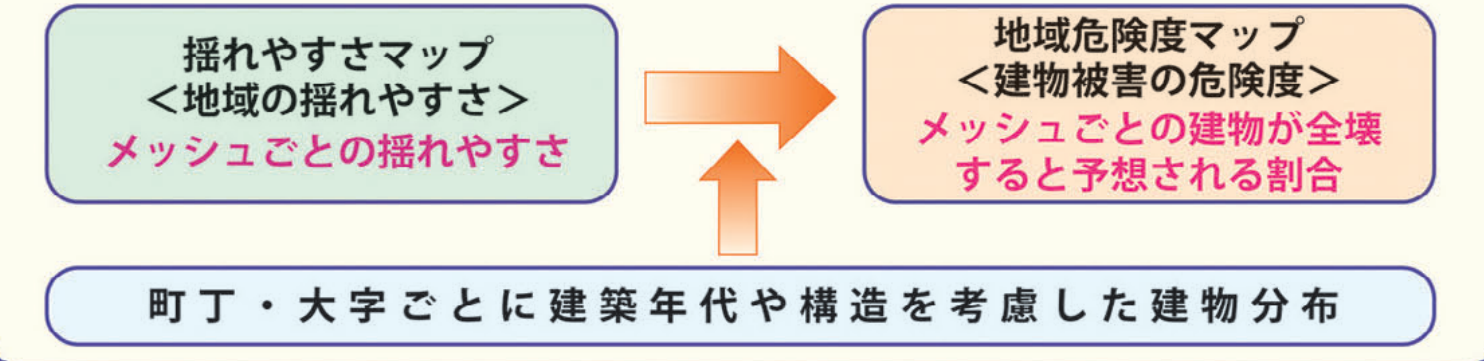
凡例

▲	市役所・総合支所
●	避難所
●	避難場所
—	国道
—	主要地方道
—	鉄道
—	地域界
—	市町村界
—	水面



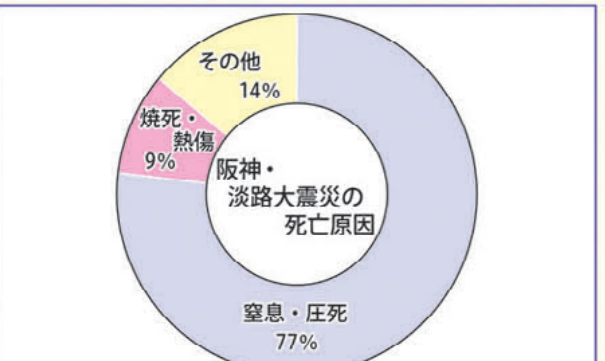
● 地域危険度マップとは

「地域危険度マップ」は、町丁・大字ごとに分布する建物の建築年代や構造を集計し、その割合と50mメッシュ単位の揺れやすさをもとに全壊すると予想される建物の割合を表示したものです。危険度の数値が大きくなるほど地域で被害を受ける建物の割合が大きくなります。



● 恐ろしい家屋の倒壊

地震による死亡やケガの原因で最も多いのは、家屋の倒壊や家具の転倒による「窒息・圧死」であり、阪神・淡路大震災での死者の約8割を占めていました。

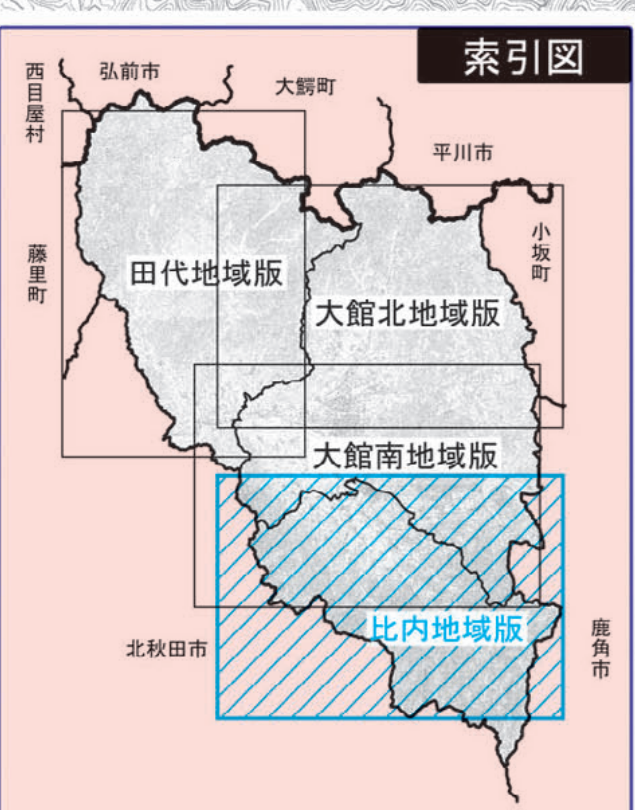


皆さんの生命・財産を守るためには、住宅・建築物の耐震性が極めて重要です。

『阪神・淡路大震災調査報告 総集編』阪神・淡路大震災調査報告編集委員会（2000）、厚生省大臣官房統計情報部『人口動態統計からみた阪神・淡路大震災による死亡の状況』（1995.12）より作成

● ご自宅の耐震性について確認してみましょう。

- ① 建てたのは昭和56年（1981年）5月以前である。
 - ② 過去に浸水、火災、車の突入事故などに見舞われたことがある。
 - ③ 壁や基礎にひび割れがある、傾いているのが分かるなど老朽化している。
 - ④ 建物の平面の形状や、偏って大きな窓があるなど耐震性に関わる問題がある。
- ひとつでも当てはまれば、建築士事務所などに相談してみましょう。
本市では、耐震診断費及び耐震改修費の一部補助を実施しています。
補助についての詳細は、市役所都市計画課（TEL:0186-43-7084）までお問い合わせください。



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。（承認番号 平22第4種、第707号）無許可で複製することを禁ず。